

2021年1月22日

報道機関 各位

「ナガサキ・核とパンデミック・シナリオプロセス」報告書（日本語版）
北東アジアの平和と安全保障に関するパネル（PSNA）提言
「長崎を最後の被爆地に！北東アジアにおけるパンデミックと核に関する 19 の提言」
（日・英）
発表について

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）では、被爆 75 年、そして核不拡散条約（NPT）発効 50 年の節目の昨年、米 NGO ノーチラス研究所、韓国 NGO アジア太平洋核軍縮・不拡散リーダーシップ・ネットワーク（APLN）との共催で、オンラインによるシナリオ・プランニング「ナガサキ・核とパンデミック・シナリオプロセス」を実施し、2020年12月17日に報告書（英文）「Pandemic Futures and Nuclear Weapon Risks: The Nagasaki 75th Anniversary Pandemic-Nuclear Nexus Scenarios」を発表いたしました。

この度、その日本語版「パンデミックの未来と核兵器リスク：被爆 75 年記念事業ナガサキ・核とパンデミック・シナリオプロセス」が完成し、韓国版、中国語版（要旨のみ）とともに1月27日にウェブ公開となりました。同時に、APLNからはプロモーション・ビデオも公開（英語）される予定です。また、この報告書に基づき、北東アジアの平和と安全保障に関するパネル（PSNA）が提言書「長崎を最後の被爆地に！北東アジアにおけるパンデミックと核に関する 19 の提言」（日・英）も同時に発表となりました。そこで、下記のように記者会見（オンライン）を行います。ご多忙中誠に恐れ入りますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

■日 時：2021年1月27日（水）11：00～12：00

■場 所：Zoom オンラインによる配信

（Zoom 参加申込の締め切り：1月26日（火）17時半）

Zoom によるオンライン配信をいたします。オンライン参加をご希望の方は E メールにてお知らせください。Zoom 参加のための URL をお知らせします。

■説明者： 吉田 文彦 RECNA センター長・教授
 鈴木 達治郎 RECNA 副センター長・教授

なお、「ナガサキ・核とパンデミック・シナリオプロセス」プロジェクトの詳細は、下記ウェブサイトを参照してください。https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/75th_scenario_project

以上

【本リリースに関するお問い合わせ、並びにオンライン申し込み先】

核兵器廃絶研究センター事務室 TEL 095-819-2164 / FAX 095-819-2165
E-mail recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp